ECLIPSE

メモリーナビゲーション内蔵 DVD ／ *Bluetooth*® ／地上デジタルTV 7型WVGA AVシステム

AVN-LS01 / AVN-LS01W

取付説明書

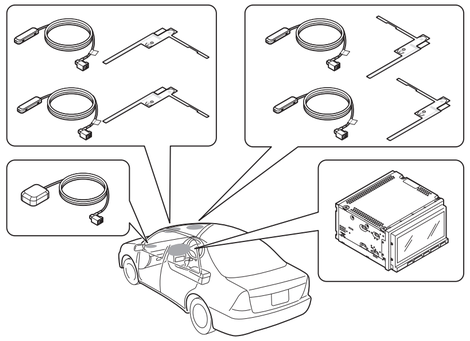
お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
- 安全運転のため、ご使用の前に「**取扱説明書**」、「**取付説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「**取扱説明書**」、「**取付説明書**」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ー販売店様へー

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図



構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

❶メインユニット AVN-LS01 ×1	❶メインユニット AVN-LS01W ×1	❷電源コード ※1 ×1
❷電源コード ※2 ×1	❸中継コード ×1	❹車両信号コード ※1 ×1
❺AUXコード ×1	❻バックカメラコード ×1	❼ハンズフリーマイク ×1
❽地図専用microSDカード ※3 ×1	❾B-CASカード ×1	❿取り付けねじ（M5×6） ×8
⓫ショートコネクタ ※1 ×6		

●アンテナ関係

⓬フィルムアンテナ（左側：Ⓛ表示） ×1 ⓮、⓯アンテナコード（タグ：1、2） ×1 ⓰クランパー ×3 ×2	⓭フィルムアンテナ（右側：Ⓡ表示） ×1 ⓰、⓱アンテナコード（タグ：3、4） ×1 ⓰クランパー ×3 ×2	⓲GPSアンテナ ×1 ⓴アースプレート ×1

※1 AVN-LS01にのみ同梱されています。
※2 AVN-LS01Wにのみ同梱されています。
※3 地図専用microSDカードは、メインユニットにあらかじめ挿入されています。
その他の構成部品（取扱説明書、取付説明書、保証書等の資料類）

作業の進め方

1） 構成部品を確認する （☞ 構成部品）
2） バッテリーの⊖端子を外す
3） 接続を確認する （☞ 接続のしかた）（☞ システム接続例）
4） GPS アンテナを取り付ける （☞ GPS アンテナの取り付けおよびフィルムアンテナ貼り付け上のご注意）（☞ GPS アンテナの取り付け）
5） フィルムアンテナを貼り付ける （☞ GPS アンテナの取り付けおよびフィルムアンテナ貼り付け上のご注意）（☞ フィルムアンテナの貼り付け）
6） コードを配線する （☞ GPS アンテナの取り付け）（☞ フィルムアンテナの貼り付け）
7） ハンズフリーマイクを貼り付ける （☞ ハンズフリーマイクの貼り付け（例））
8） メインユニットを取り付ける （☞ メインユニットの取り付け）
9） バッテリーの⊖端子を元に戻す
10） 設定および作動確認をする （☞ 取り付け後の設定／作動確認）

安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告
この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗：しなければならないことを表しています。
⃠：してはいけないことを表しています。
⚠：注意をしなければならないことを表しています。

● 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス　この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠ 警告

- ❗ **本機は DC12V ⊖アース車専用です。**
  大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車等の 24V 車での使用はしないでください。火災の原因となります。
- ❗ **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。**
  プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電やケガの原因となります。
- ⃠ **本機を次のような場所には取り付けないでください。**
  本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所等には絶対に取り付けないでください。
  交通事故やケガの原因となります。
- ⚠ **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。**
  車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行ってください。火災の原因となります。
- ❗ **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。**
  破片等が目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- ⃠ **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**
  保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- ⃠ **本機を分解したり、改造しないでください。**
  事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。**
  規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- ⃠ **画面が出ない、音が出ない等の故障状態で使用しないでください。**
  そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。
- ❗ **万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。**
  そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ⃠ **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください。**
  車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。
  エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、ケガの原因となります。
- ⃠ **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。**
  電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ❗ **接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。**
  ショートにより火災、感電の原因となります。
- ❗ **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。**
  ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつくと事故の原因となり危険です。

⚠ 警告

- ❗ **必ず付属の部品を指定通り使用してください。**
  指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- ⚠ **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。**
  断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- ❗ **取付説明書で指定された通りに接続してください。**
  正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

- ❗ **本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。**
  安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
  誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。
- ⃠ **雨が吹き込むところ等の水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。**
  本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- ⃠ **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。**
  本機が外れて運転の妨げとなり交通事故やケガの原因となることがあります。
- ⃠ **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ等へ取り付けないでください。**
  金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
  また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- ⃠ **本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。**
  通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ❗ **コードが金属部に触れないように配線してください。**
  金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- ❗ **コードの配線は、高温部を避けて行ってください。**
  コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- ⃠ **コード類を決して途中で切断しないでください。**
  コード類には、ヒューズ等が付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。
- ⃠ **電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。**
  機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。
- ⚠ **コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。**
  雨、水の車内への進入を防ぐため コード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。
- ⃠ **本機を車載用として以外は使用しないでください。**
  感電やケガの原因となることがあります。
- ❗ **本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**
  取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

GPSアンテナの取り付けおよびフィルムアンテナ貼り付け上のご注意

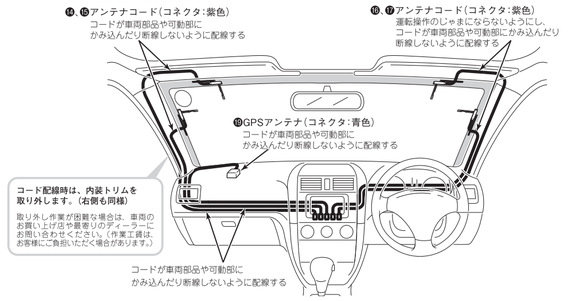
⚠ 注意

- GPS アンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPS アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となることがあります。
- GPS アンテナに付いている磁石は大変強力です。アンテナを取り付けるときは以下の点に注意してください。
  ＊時計や磁気カード等に近付けないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。貼付位置を確認して慎重に作業を行ってください。
- 取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。
  必ず指示通りに取り付けてください。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
- フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性液体を使用して拭かないでください。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内にはフィルムアンテナを貼ることはできません。
  詳しくはディーラ等にご相談ください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがあります。

アドバイス

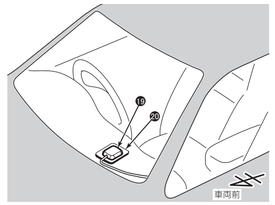
- 取付位置・貼付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる場合があります。
- ラジオ放送の音声に妨害を与えることがありますので、GPS アンテナコードは、ラジオアンテナやラジオアンテナコードからできるだけ離して取り付けてください。
- 次のような場合、電波の受信性能が低下したり、電波を受信できないことがあります。
  ＊指定位置や寸法を守らずに貼り付けた場合
  ＊フロントガラスに内蔵されているアンテナに重ねて貼り付けた場合
  ＊特殊なフロントガラスやフィルム（ミラータイプ、熱線反射タイプや熱線吸収タイプ等）を使用している場合
  ＊車内または車両周辺にテレビ受信の妨げとなるような電磁波を発する機器がある場合
- 次のような場合、テレビの映像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
  ＊ワイパーやエアコンを動作させた場合
  ＊電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところ等、電波状況の悪い場所にいるとき
- 気温が低い（20℃以下）時やガラスが曇ってしまう時は、フィルムアンテナの粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

GPSアンテナ・フィルムアンテナ取付概要図



GPSアンテナの取り付け

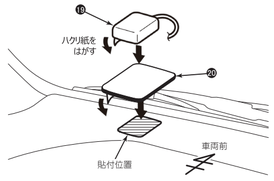
1 ⓳ GPS アンテナの貼付位置を決める



① ⓳GPSアンテナおよび⓴アースプレートがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。

アドバイス
- GPS アンテナは、電波の遮られにくい、平らな場所に貼り付けてください。
  推奨する貼付位置はダッシュボードの左側です。

2 ⓳ GPSアンテナと⓴アースプレートを貼り付ける

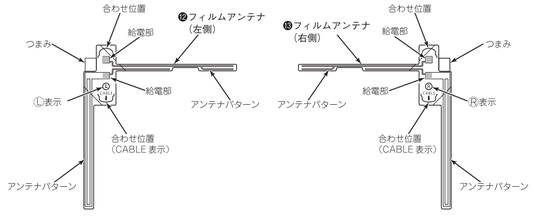


① ⓴アースプレートのハクリ紙をはがす。
② ダッシュボードに⓴アースプレートを貼り付ける。
③ ⓳GPSアンテナのハクリ紙をはがす。
④ ⓴アースプレートに⓳GPSアンテナを貼り付ける。

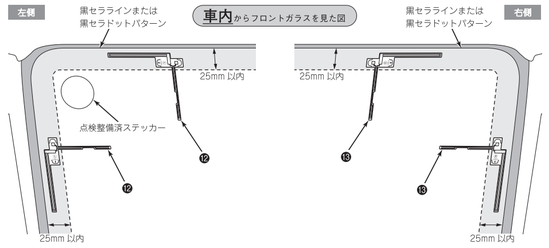
アドバイス
- ⓳ GPS アンテナを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

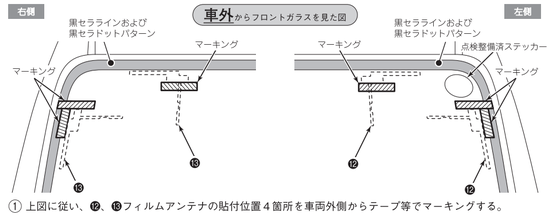
フィルムアンテナの貼り付け

フィルムアンテナについて



1 ⓬、⓭フィルムアンテナの貼付位置を決める





① 上図に従い、⓬、⓭フィルムアンテナの貼付位置４箇所を車両外側からテープ等でマーキングする。

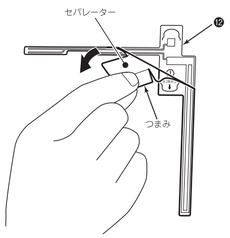
⚠ 注意
- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、給電部が黒セラライン※１または黒セラドットパターン※２から 25 mm以内に収まるよう貼り付けてください。

- 給電部および黒塗り部が上図の例のように、黒セララインまた黒セラドットパターン下端から 25mm 以内に収まっていれば問題ありません。
- ⓬、⓭フィルムアンテナを黒セララインおよび黒セラドットパターンにかかって取り付けても問題ありませんが、黒セラドット部の貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時は、はがれないよう注意してください。
- ⓬、⓭フィルムアンテナは、検査標章や点検整備済ステッカーと重ならないように貼付位置を決めてください。

※1 黒セラライン：黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※2 黒セラドットパターン：黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット（点々）部分。

アドバイス
- 貼付位置に障害物等がないことを確認してください。
- テープはフロントガラスに跡が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。
- フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分をクリーナー等でよくふき取ってください。

2 ⓬、⓭フィルムアンテナのセパレーターをはがす

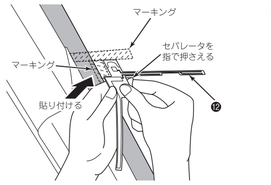


① つまみを持ち、⓬フィルムアンテナ裏側のセパレーターを図の位置まではがす。

⚠ 注意
- セパレーターはすべてはがさないでください。

アドバイス
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

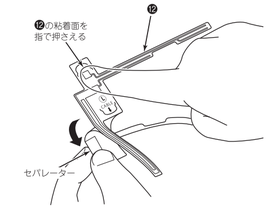
3 ⓬、⓭フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける



① 左図に従い、⓬フィルムアンテナの粘着面をフロントガラスのマーキングに合わす。

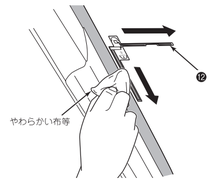
② ⓬フィルムアンテナの粘着面を押さえながら、⓬フィルムアンテナのセパレータを少しずつはがし、粘着面をフロントガラスに貼り付ける。

⚠ 注意
- 粘着力が低下するため、⓬、⓭フィルムアンテナを貼り直さないでください。
- 給電部を貼り付ける際、手が給電部の粘着面や、貼付位置にふれないように注意してください。
- ⓬、⓭フィルムアンテナにシワがつかないように注意して貼り付けてください。



アドバイス
- アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレータはゆっくりとはがしてください。
- セパレータを少しずつはがしながら⓬、⓭フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。
- セパレータ側にアンテナパターンが残った場合は、セパレータを元に戻し、アンテナパターン部をこすってから再度セパレータを折り返すようにはがしてください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

4 アンテナパターン部を定着させる

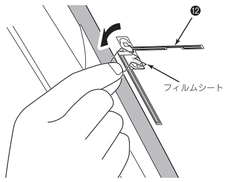


① ⓬フィルムアンテナのアンテナパターン部をやわらかい布等でこすってガラス面に定着させる。

⚠ 注意
- アンテナパターン部をこする際は、ヘラ等固いものを使用しないでください。アンテナパターン部の破損の原因になります。
- アンテナパターンを布等で押さえる際、シワや傷がつかないように注意してください。

アドバイス
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

5 フィルムシートをはがす



① ⓬フィルムアンテナのフィルムシートをはがす。

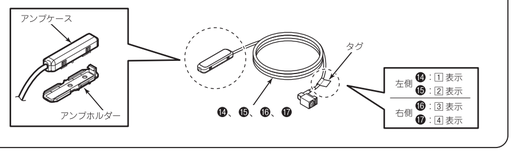
⚠ 注意
- フィルムシートをはがす際、給電部に傷がつかないように注意してください。

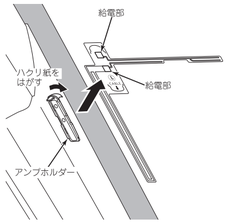
アドバイス
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

6 給電部に⑭、⑮、⑯、⑰アンテナコードのアンプホルダーを貼り付ける

アドバイス

- ⑭、⑮、⑯フィルムアンテナに⑭、⑮、⑯、⑰アンテナコードのアンプホルダーとアンプケースを取り付けます。



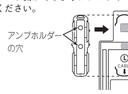


① アンプホルダーのハクリ紙をはがす

② 給電部にアンプホルダーを貼り付ける。

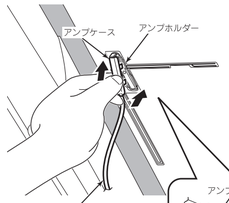
アドバイス

- フィルムアンテナの給電部にアンプホルダーの穴を合わせてください。
- 合わせ位置（CABLE 側）にアンプケースのコード側がくるようにアンプホルダーを貼り付けてください。



- アンプホルダーの穴から給電部が見えることを確認してください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。

7 アンプホルダーにアンプケースを組み付ける

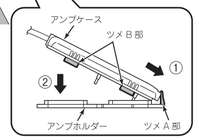


① アンプホルダーのツメA部にアンプケースを合わせてください。

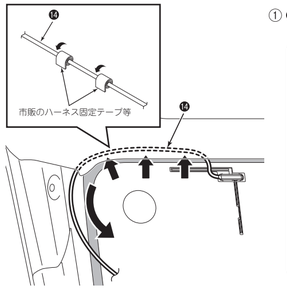
② アンプケースのツメB部をアンプホルダーに合わせてください。

アドバイス

- ツメ B 部で固定する際、アンプケースは「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
- 図は左側を表しています。右側も同様に作業を行ってください。



8 ⑲ GPS アンテナコード、⑭、⑮、⑯、⑰アンテナコードを配線する



① ⑭アンテナコードをルーフライニング内に収める。

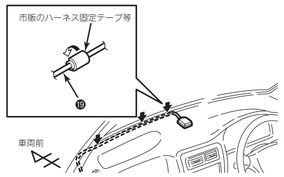
アドバイス

- ルーフライニングを少し下げて⑭アンテナコードを挿入してください。

- ⑭アンテナコードがルーフライニングからはみ出す場合は、市販のハーネス固定テープを巻きつけてルーフライニング内に収めてください。
- フロントピラートリムに⑭アンテナコードがかみ込む場合は、フロントピラートリムを切り欠いてください。
- 図は、⑭アンテナコードの配線を表しています。⑮および右側も同様に作業を行ってください。

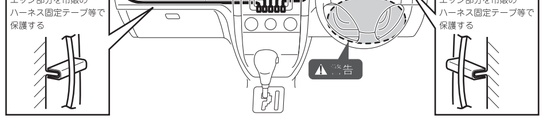
⚠ 注意

- ルーフライニングに無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。
- ⑭アンテナコードを強く引っぱったり、ストレスやかみ込み等がないようにしてください。



アドバイス

- ⑲ GPS アンテナコードは、ダッシュボード奥にコードを押し込みながら配線してください。



② ⑲GPSアンテナコードおよび⑭、⑮、⑯、⑰アンテナコードを⑲クランパーおよび市販のハーネス固定テープ等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

⚠ 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、市販のハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

⚠ 注意

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分に市販のハーネス固定テープを貼り付けてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。コードがかみ込んでしまう場合は、内装トリムに切り欠き等を入れてください。
- あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm 以上離してください。
- コードは、市販のハーネス固定テープやバンドクランプ等の固定部材を使用して確実に固定してください。

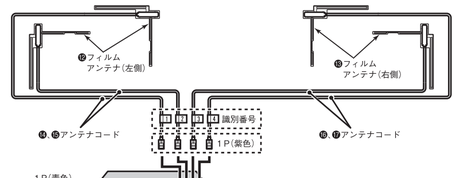
● 接続のしかた

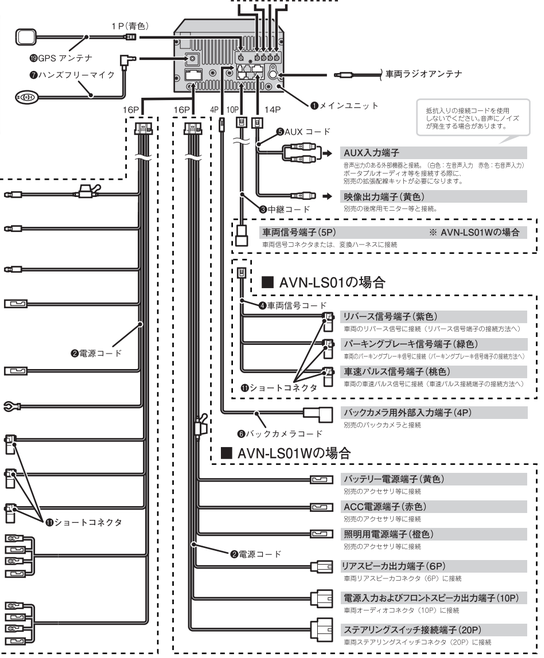
⚠ 注意

- 車両信号の取り出しには必ず付属のショートコネクタを使用して接続してください。指定外のショートコネクタを使用すると接触不良の原因になります。
- 接続しない端子等は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災、感電の原因になります。
- 接続コードを本体に接続する前にアースコードを車両側に必ず接続してください。スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。
- スピーカ出力端子と電源／アース端子を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- フィルムアンテナおよびアンテナコードは、本製品に同梱のものを使用してください。同梱品以外のものを使用すると、受信性能が低下する場合があります。

アドバイス

- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）をご確認ください。
- 車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
- ステアリングスイッチの接続先および適合情報については、イクリプスの Web サイト内「お客様サポート」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/）をご確認ください。





リバース信号端子の接続方法（紫色）

車両の後退を検知するために接続します。

車両のバックランプハーネス等（シフトレバーを「R」の位置にしたときに電圧が変化するハーネス）に接続してください。

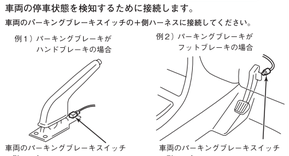
●シフトレバーを「R」にした時に６Ｖ以上の検知電圧値になることをテスターで確認してください。

※リバース信号端子を接続しないと車両を後退させた際に自車位置のズレが発生する恐れがあります。

パーキングブレーキ信号端子の接続方法（緑色）

車両の停車状態を検知するために接続します。

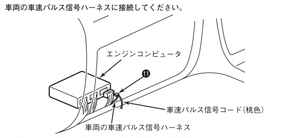
車両のパーキングブレーキスイッチの＋側ハーネスに接続してください。



車速パルス接続端子の接続方法（桃色）

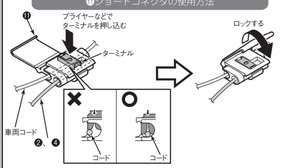
車両の走行を検知するために接続します。

車両の車速パルス信号ハーネスに接続してください。



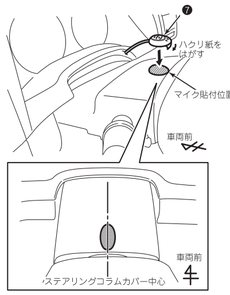
※車速パルス信号を接続しないと測位精度が大幅に低下します。

❶ショートコネクタの使用方法



● ハンズフリーマイクの貼り付け（例）

1 ❼ハンズフリーマイクを貼り付ける



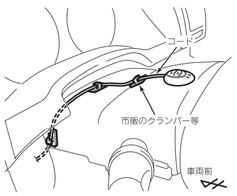
① ❼ハンズフリーマイクのハクリ紙をはがす。

② ステアリングコラムカバーの中心に❼ハンズフリーマイクを貼り付ける。

アドバイス

- ❼ハンズフリーマイクを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- チルト・テレスコピック時、❼ハンズフリーマイクが車両部品と接触しない位置に貼り付けてください。

2 コードを配線する



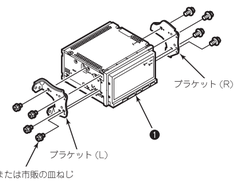
① ❼ハンズフリーマイクのコードを市販のクランパー等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

⚠ 警告

- コードは、運転操作の妨げとならないよう、市販のクランパー等で固定してください。ステアリングやシフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

● メインユニットの取り付け

1 車両のオーディオ、小物入れを取り外す



① 車両のオーディオ、小物入れ等を取り外す。

② オーディオ、小物入れ等を取り付けているブラケットを取り外す。

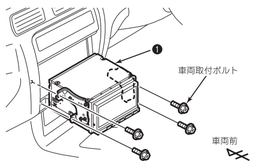
- オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用するブラケットは、車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。

③ ❶メインユニットにブラケットを取り付ける。

アドバイス

- 車両メーカーに応じてブラケット取付穴を選んでください。車種別の情報はイクリプス web サイトお客様サポート内の「ジャストフィットガイド」（https://www.denso-ten.com/jp/eclipse/support/justfitguide/）をご確認ください。

2 ❶メインユニットを車両に取り付ける

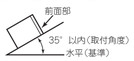


① ❶メインユニットに各コードを接続する。

② ❶メインユニットを車両に取り付ける。

お願い

- センターコンソールの形状によっては、シフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自車位置ズレやディスクの出し入れ等が正常にできない場合がありますので、できるだけ水平に対して、35°以内の角度で取り付けてください。



- 必ず付属のねじを使用してください。

取付ねじは、必ず指定のねじ（M５×６）を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。皿ねじが必要な場合は、市販されている皿ねじ（M5×6）を準備して使用してください。

- ディスプレイを手で押さえないでください。

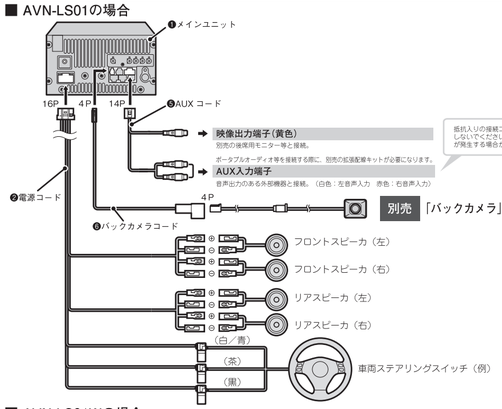
車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ（表示部）やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ（表示部）やボタンが破損する恐れがあります。

- パネル保護シートはメインユニットを車両に取り付けた後、操作する前に取り外してください。取り付ける前に外すとディスプレイに傷を付ける恐れがあります。

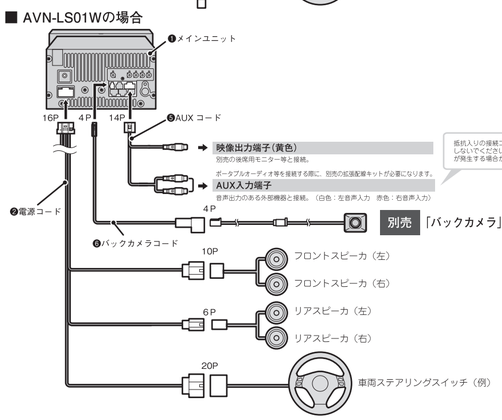
● システム接続例

接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。

■ AVN-LS01の場合

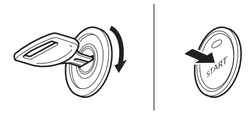


■ AVN-LS01Wの場合



● 取り付け後の設定／作動確認

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する



- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 初期設定をする

お願い

- 本体や周辺機器の取扱説明書を参照し、初期設定を行ってください。

3 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

① パーキングブレーキがかかっている事を確認してから、本体前面 現在地 ボタンを押す。

② メニュー をタッチする。

③ ナビ設定 をタッチする。

④ をタッチする。

⑤ GPSセンサー情報 をタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

お願い

- GPS 受信感度
  しばらく経っても GPS 測位の表示が「未測位」から変わらないときは、GPS アンテナの接続状態を確認してください。
- 車速パルス
  GPS・センサー情報画面で走行すると車速パルス信号の状態を確認することができます。
  走行中、パルス回数表示が「０回」から変わらないときは、車速パルス信号の接続状態を確認してください。
- パーキング信号
  パーキングブレーキがかかっている場合、表示が “ON” に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が “OFF” に変わります。
  表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。
- リバース信号
  バックギア以外にシフトしている場合、表示が “OFF” に、バックギアにシフトしている場合、表示が “ON” に変わります。
  表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。

LSX5010002
2107